教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書
（令和６年度対象）

令和７年９月

棚倉町教育委員会

目　　次

Ⅰ　はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅱ　点検及び評価の実施方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

Ⅲ　施策評価の基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

Ⅳ　棚倉町教育委員会施策評価一覧・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

Ⅴ　点検・評価表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

Ⅵ　学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

Ⅰ　はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条の規定に基づき、教育委員会自らが点検及び評価を行い、その評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされていることから、棚倉町教育委員会の権限に属する事務の管理執行の状況について点検評価を行った結果を取りまとめたものです。

教育委員会は、町長から独立した立場で教育行政における学校教育や社会教育など、広範かつ専門的な教育行政事務を管理及び執行するために設置された合議制の機関（行政委員会）です。

そのため、棚倉町教育委員会では、この点検結果や評価及び学識経験者からの意見をもとに、計画的かつ効率的な教育行政を推進してまいります。

【参　考】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第２６条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

Ⅱ　点検及び評価の実施方法

棚倉町振興計画及び教育大綱において、４つの施策・１６の主要施策を掲げています。点検及び評価にあたっては、事業の実績を基に進捗状況を担当課が評価し、改善が必要な場合はその方策を示します。そして、学識経験者のご意見をいただき、総合的な評価を行います。

●学識経験者　（順不同・敬称略）

氏　　名	住　　所
高田　　昇	棚倉町大字棚倉字宮下１０９番地
藤田千恵子	棚倉町大字花園字鹿子山９８番地１
石川　幸絵	棚倉町大字棚倉字城跡８１番地

Ⅲ　施策評価の基準

各施策の点検評価は、次の３区分により達成度の評価を行う。

Ａ　施策、事業の達成度、進捗が順調である
- 事業の目的に対し、進捗や実績の達成状況が８０％以上
- 達成度が非常に高い

Ｂ　施策、事業の達成度、進捗がおおむね順調である
- 事業の目的に対し、進捗や実績の達成状況が６０％以上から８０％未満
- 達成度が高い

Ｃ　施策、事業の達成度、進捗が順調ではない
- 事業の目的に対し、進捗や実績の達成状況が６０％未満である
- 達成度が低い

○評価は、事業の進捗や実績等を総合的に評価しています。

Ⅳ　棚倉町教育委員会施策評価一覧

施　策　名			施策評価
1　学校教育の充実			A
主要施策名	評価	記　載 ページ	担　当　課
① キャリア発達の支援	A	6	子ども教育課
② 夢の実現を図る学力の向上	B	7	子ども教育課
③ 人間性豊かな心と健康な体の育成	A	8	子ども教育課
④ 特色ある学校づくりの推進	A	9	子ども教育課
⑤ 教育環境の充実	A	１０	子ども教育課

施　策　名			施策評価
2　子育て環境の充実			A
主要施策名	評価	記　載 ページ	担　当　課
① 幼稚園教育の充実	A	１１	子ども教育課
② 保育環境の充実	B	１２	子ども教育課
③ 子育て支援の充実	A	１３	子ども教育課

施　　策　　名			施策評価
３　生涯学習の充実			A
主要施策名	評価	記　載 ページ	担　当　課
① 生涯学習内容の充実	B	１４	生涯学習課
② 生涯学習拠点の充実	A	１５	生涯学習課
③ 青少年・子どもの健全育成	B	１６	生涯学習課
④ 生涯スポーツの推進	A	１７	生涯学習課

施　　策　　名			施策評価
４　文化芸術活動の振興			B
主要施策名	評価	記　載 ページ	担　当　課
① 郷土文化の保存と継承	A	１８	生涯学習課
② 歴史や文化資源の活用	B	１９	生涯学習課
③ 文化活動の推進	B	２０	生涯学習課
④ 芸術活動の推進	B	２１	生涯学習課

Ⅴ　点検・評価表

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">学校教育の充実</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">キャリア発達の支援</td><td>子ども教育課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・よりよく生きようとする子どもと一人一人の基礎的汎用的能力の育成を目指し、キャリア教育推進事業を展開する。
・一人ひとりの基礎的汎用的能力の育成を目指した各学校の「キャリア教育推進プラン」を支援する。
・町内の各組織の支援体制を確立し、幼小中のキャリア発達の連携を一体化する。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・キャリア教育シンポジウムの開催
８月２日（金）棚倉町保健福祉センター研修室
・小学６年交流学習の開催
11 月 22 日(金)ﾙﾈｻﾝｽ棚倉、棚倉町総合体育館
※栃木県那須塩原市教育振興会小・中学校等教務主任研修の実施受け入れ　カリキュラム・マネジメントとキャリア教育について
12 月 3 日（火）教育委員会・棚倉小・棚倉中</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td colspan="2">Ｒ６</td></tr>
<tr><td>シンポジウム参加者数（人）</td><td>１１５</td><td>１０７</td><td colspan="2">１１５</td></tr>
<tr><td>アンケート肯定意見(%)</td><td>１００</td><td>９９</td><td colspan="2">９９</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・キャリア教育シンポジウムについては、参加者はほぼ例年通り。棚倉町の幼稚園・小・中学校がそれぞれの園児・児童生徒の実態に応じて同じ方向性で肯定的･対話的な関わりを中心にキャリア教育を実践していることへ理解と好評価の意見が多数。また、棚倉町の教職員が、育てたい子どもの姿を共有しながら、義務教育終了まで一体となって子どもたちの育ちや学びを実現していることが実感でき､異校種とのつながりを考える機会となったとの意見が多かった。
その他、オンライン研修のため、移動の負担軽減の良さもあるが、音声が聞きとりにくさについての意見も寄せられた。
・昨年度も、町内の幼・小・中のつながりのある実践を共有・意見交換する場とし、課題について大学教授等より助言を頂きながらキャリア教育を推進できた。
・ＩＣＴ機器を活用したオンラインでの開催により、棚倉町以外の参加者を募り、昨年も町外の教育関係者にも発信できた。
・小学６年生の交流学習は、例年２日間で実施していたが、内容を精選し、1 日のみの実施としたが、目的である新たな仲間との交流や中学校生活へのイメージが膨らみ、目的が充分達成できた。教育委員会が主体となったことで事前準備等において､教員の負担軽減も達成できた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・次年度のキャリア教育シンポジウムは、棚倉町文化センターにて参集型で実施するため、音声の聞こえにくさは解消できる。
・キャリア教育としての小学6年生交流学習の在り方を小6と中1の交流をより大切にした形で実施できると良い。また、運営委員会の回数や実施方法については、改善の余地がある。3回のうちの1回をオンライン開催にするなど工夫し、さらなる負担軽減を図る。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">学校教育の充実</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">夢の実現を図る学力の向上</td><td>子ども教育課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・子どもたち一人ひとりが夢を持ち、夢を実現できる学力が身に付くよう「学力向上推進事業」を展開する。
・キャリア教育を意識した授業の実践に努める各学校の「学力向上グランドデザイン」の実践を支援する。
・教職員の授業力の向上や知識、指導力を高めるため、各種研修事業を充実する。
・支援の必要な子どもたちに対して、適切な支援の充実に努める。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・棚倉町キャリア教育意識調査の実施（６月、１１月）
・ＱＵテストの実施（６月、１２月）
・棚倉町夏の教職員研修会の実施（小中連携）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td></td></tr>
<tr><td>肯定的評価平均 小学校（%）</td><td>９１</td><td>９４</td><td>９３</td><td></td></tr>
<tr><td>肯定的評価平均 中学校（%）</td><td>８７</td><td>８７</td><td>９０</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・小学４年生から中学３年生を対象にキャリア教育意識調査を実施した結果、小学校においては、４能力（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力）全てにおいての肯定的評価の平均値は高く、90%を上回る高いレベルの結果であった。特にキャリアプランニング能力では、95%と高い結果であった。中学校においても、特にキャリアプランニング能力の項目で、全体の肯定率が昨年度より 3.5 ポイント向上している。小学校では、将来の夢や目標を達成するために努力している児童の割合は 91.5%と高い。全国学力・学習状況調査においては、小学校においては、国語・算数の２教科とも、全国・県平均を上回る結果となった。中学校においては、国語・数学の２教科ともに、全国・県平均を下回った結果となっている。小学校においては、どちらも思考力・判断力・表現力が身についている。中学校においては、記述式の問題や思考力・判断力・表現力を問われる問題の平均正答率が大幅に下回っている。
・ＱＵテストの結果を生かし、各校において、要支援群に位置する児童生徒への関わり方や学級づくりについて、検討する機会を持ち、一人一人への関わり方について見直すことで、心配される児童生徒の自己肯定感や自己有用感を高め、心理的安全性の高い学級づくりに活かすことで、児童生徒の意欲を引き出している。
・夏の教職員研修会において、小・中学校の教職員が各部会に分かれ、全国学力・学習状況調査の分析や日頃の授業の様子から、各教科の課題や強みなどの情報を共有し、町全体で共通実践していくことを明確にするための話し合いの機会を設けたことで、どのような部分に尽力していくか方向性を定めることができた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・引き続き、学力向上研究計画の中で、肯定的・対話的な関わりを通して児童生徒の良さを「価値づけ・つなぎ・語らせる」ことでキャリア教育の推進し、学級づくり・授業づくり・自己マネジメント力育成の各部会において、学力向上を目指して研究実践を進めていく。その中でも、ＲＶＰＤＣＡサイクルによる自己マネジメント力が向上するよう、学習計画表やフォーサイト手帳等の活用、キャリア・パスポートの家庭・地域との共有等の取組みを強化していく。
・教科指導においては、全国学力・学習状況調査の結果を学校全体で分析し、対応策を共有し、全校体制で個別の指導を充実させる必要があること、更には、教師側も児童生徒の思考をつなぎ、共有し、深めるためのコーディネート力（授業力）の向上を目指す必要があるため、指導主事の学校訪問等による支援を継続していく。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">学校教育の充実</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">人間性豊かな心と健康な体の育成</td><td>子ども教育課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・「人が人とつながり、社会をつくっていく子ども」の育成を目指し、生徒指導推進事業を展開する。
・日常的な運動や体育を充実し、スポーツテストの結果を活用しながら健康な体をつくっていく。
・学校給食において地産地消を進め、正しい食生活を養うための食育の充実を図る。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・増加傾向にある不登校の児童生徒に対し状況に応じた適切な相談及び指導助言を行うため学校教育相談員を２名体制とした。
・子どもサポート教室の場所を高野小学校内に移設すると伴に、ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰを同室に配置することで連携強化を図った。
・給食での棚倉産や県産食材の使用、また県産食材補助事業等も活用し、地産地消に取り組んだ。
・学校と連携し、食の実態把握や食育指導、給食訪問等を実施した。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td colspan="2">項目（単位）</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td></tr>
<tr><td colspan="2">いじめの認知件数（件）</td><td>８８</td><td>８４</td><td>５２</td></tr>
<tr><td colspan="2">学校給食における
地元食材の割合（%）</td><td>４０．３</td><td>３９．０</td><td>３７．５</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・学校教育相談員を２名体制としたことにより、これまで学校や保護者からの相談待ちの体制から、学校等に訪問して不登校児童生徒の情報提供をうけ、サポート教室側からアプローチを出来る相談体制の強化が出来た。
・米は１００%棚倉産米を使用し地元の野菜も優先的に使用した。
・主食や牛乳の高騰が著しい中でも給食の質の低下を招かぬよう、児童生徒の思考や旬の食事等に配慮した献立の工夫と提供に努めた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・サポート教室に通う生徒や不登校等の子ども達が自らの足で通級出来る場所はないか検討が必要である。
・米や野菜の他、棚倉産ブルーベリーやたなぐらブランドのブルーベリージャムを使った新たなメニューを取り入れた給食、週１回程度定期的にデザートを提供し、内容の充実を図っていきたい</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

施　策　名	学校教育の充実	担当課	担当課 評　価
主要施策名	特色ある学校づくりの推進	子ども教育課	A
第６次振興計画 における 事業の目的 と概要	・各学校の環境を活かした特色ある学校づくりに努める。 ・学校評議委員制度やＰＴＡ会合等を通して、広く学校経営について意見を聞き、開かれた学校づくりに努める。 ・２学期制の検証を踏まえ、制度の再構築を進めます。		
令和６年度 事業実施状況	・各学校で、保護者及び地域住民との信頼関係を深め、一体となって学校運営の改善や児童生徒の健全育成に取り組むため、学校運営協議会を開催した。 ・地域の窓口として連絡・調整を行う地域学校協働活動推進員を小中学校に配置し学校支援のため地域と学校を結び、学校の協働活動を推進した。		
成果実績	・学校運営協議会の開催 棚倉小学校　３回　社川小学校　４回　高野小学校　３回 近津小学校　３回　棚倉中学校　２回 ・各学校の地域との主な連携事業 棚倉小学校　桜清水の環境整備事業、地元店での豆腐づくり、米づくり、自然教室、読み聞かせ昔語り等 社川小学校　地元史跡（玉野堰・羽黒神社）見学、地元農家の見学、地元スーパの見学 高野小学校　校歌を辿る見学学習、城跡石垣見学 近津小学校　地元農家の見学、山本不動尊見学学習、御田植祭の参加、地元のスーパの見学 ・地域学校協働活動推進員の主な活動 棚倉小学校　校外学習ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ、読み聞かせﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ調整、桜清水環境作り活動等 近津小学校　家庭科・図工・珠算授業、読み聞かせﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ調整、見学学習の引率等 社川小学校　家庭科（ミシン授業）、地元農家のｺｰﾃﾞｨﾈｰﾄ		
評価の内容	全小中学校に学校運営協議会が設置されており、定期的な会議の開催が行われ、地域と伴に学校運営を行っている。各学校においても地域の環境を教材として活用し、それぞれが特色づくりに努めている。		
改善の方策等	学校運営協議会及び地域学校協働活動推進員のいづれにおいても各学校毎に運営されているが、それぞれの委員が目的意識とその役割について意識の醸成を図る必要がある。		

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

施　策　名	学校教育の充実	担当課	担当課評　価
主要施策名	教育環境の充実	子ども教育課	A
第６次振興計画における事業の目的と概要	・質の高い教育を推進するため、教材・教具の充実を図る。 ・各小学校の今後の児童数の推移を把握し、学校規模の適正化と新たな教育システムについて検討する。 ・地域の実情に応じたスクールバス等による通学手段の支援に努める。		
令和６年度事業実施状況	・特定の財源を有効活用し各学校で必要とする学習用備品の整備を行った。 ・児童生徒の減少について、各園校の保護者や関係者に説明を行い、学校統合の必要性について情報共有を行った。 ・社川小学校の改修工事（２期工事）を行い児童の学習環境の整備を行った。 ・中学生のｽｸｰﾙﾊﾞｽ利用対象者の乗車距離について検討を行った。		
成果実績	・学校統合について、説明会に出席者した方々は子どもの減少に伴う統合について概ね理解を示し、早い段階で町民に周知ことの必要性を共有できた。また、高野小学校については全町からの就学者を募集しておりましたが、希望者がないため令和７年度をもって閉校すること決定した。 ・社川小学校改修工事（2 期工事） 工事内容：塗装工、防水工、雨漏り修繕、建具工 ・中学生の通学支援として行っているｽｸｰﾙﾊﾞｽの利用可能な乗車距離を、社会情勢等を踏まえ５㎞から４㎞に拡充した		
評価の内容	・学校の統合においては、説明会にて児童生徒の推計等を示したことで、保護者等の学校統合の意識を高めることができた ・中学生の通学支援においては、自転車購入補助とスクールバス運行を行っているが、近年の社会情勢等により自転車で通学する生徒は少なく、スクールバスの乗車可能距離の見直しの要望があったため、補助を廃止し、スクールバスの乗車可能距離を見直したことは、現在の需要にあった対応をすることができた。		
改善の方策等	学校の統合、子どもたちにより良い教育、望ましい教育環境を整えるため、必要不可欠であるため今後も丁寧な説明と、早めの情報提供に努める必要がある。スクールバスの運行については令和３年度から全町運行を行っているが、中学生の帰り（部活後）の便の乗車数が少なく、その必要性の検討も必要である。		

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

施　策　名	子育て環境の充実	担当課	担当課評　価
主要施策名	幼稚園教育の充実	子ども教育課	A
第６次振興計画における事業の目的と概要	・幼児の主体的な活動として「遊び」を通じて基礎的な生活習慣を確立し、様々な体験の場を提供して、園児の「やる気」を育て「ほめる」ことにより自己肯定感の基礎づくりを実施する。 ・研修の充実を図り、幼稚園職員の指導力向上を目指す。 ・支援が必要な園児に対し、適切な支援の充実に努める。		
令和６年度事業実施状況	・「遊び」を通して「聞く」「考える」「伝える」ことを学ばせるため、各幼稚園においてキャリア教育を意識した体験活動等を実施した。 ・専門的な知識を持つNPO法人を講師として、コオーディネーショントレーニングに関する研修会を開催した。 ・各幼稚園に特別支援教育支援員を配置した。		
成果実績	・保護者による絵本の読み聞かせを実施することで「聞く力」を、里山での虫観察会や図書館見学、寿恵園訪問などの体験活動を通して自らが「考える力」、考えを「伝える力」を養った。また、様々な職種に触れ、興味・関心を持つきっかけづくりに努めた。 ・研修により、幼稚園職員の知識及び指導力の向上を図った。 ・棚倉幼８名、社川幼２名、近津幼２名の支援員を配置した。		
評価の内容	・各幼稚園において園児に様々な体験の場を提供し、園児の持つ「力」や社会性の基礎を育むことができた。 ・専門的な知識を持つ講師を招いて研修会を開催したことで、幼稚園職員のスキルアップを図ることができた。 ・各幼稚園に支援員を配置し、支援が必要な園児に対し適切な支援をすることができた。		
改善の方策等	・キャリア教育を推進し、子どもたちが遊びや生活の中で、夢を実現するための心の育成を図るとともに、健康増進と体力向上に努め、小学校へのスムーズな接続につなげる。 ・幼稚園職員の知識向上を図るため、研修会を継続的に開催する。 ・支援を必要とする園児の状況等を把握しながら、適正な人数の支援員を確保・配置する。		

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">子育て環境の充実</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">保育環境の充実</td><td>子ども教育課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・「待機児童ゼロ」を継続する。
・棚倉町子ども子育て支援事業計画に基づいた支援と、多様化する保育ニーズを的確に捉え、保育サービスの提供と質の向上に努める。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・延長保育事業の実施
・利用者負担金の軽減
・保育補助者雇上強化事業の実施</td></tr>
<tr><td rowspan="4">成果実績</td><td>項目（単位）</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td></td></tr>
<tr><td>延長保育
利用者数（人）</td><td>９０</td><td>５２</td><td>２７</td><td></td></tr>
<tr><td>待機児童数
（3 月末現在申込件数）</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・申込者数の増加及び保育士の不足により待機児童が発生した。
・多様化する利用者ニーズに対応するため、保育園と連携して午後６時から６時３５分までの３５分間延長保育を実施し、就労世帯の子育て支援を図った。
・利用者負担金は国に準じて軽減措置をしているが、町独自に第２子以降の利用者負担金を１／３（国は１／２）とし、利用者負担の軽減を図った。
・保育園の負担軽減を図るため、保育補助者雇上強化事業の助成を行った。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・棚倉保育園の運営状況を常に把握し、安定した運営が継続的にできるよう引き続き助言・指導を行う。
・就労を希望する保護者の増加及び幼児の低年齢化を見込み、保育士の確保に努める。
・子ども子育て支援事業に基づき、利用者ニーズを的確に捉え、園との連携を図りながら、保育環境の整備等を図っていく。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">子育て環境の充実</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">子育て支援の充実</td><td>子ども教育課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・子育て支援の拠点となる子どもセンターの子育て支援事業として、親子が楽しく触れ合うことができる各種事業の充実を図り、事業の周知徹底により利用者を増やす。
・子どもが安全で健やかに過ごせる場所を提供する。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・子どもセンターで各種事業を実施した。
・地域の子育てを支援するため、ファミリー・サポート・センター事業を実施した。
・児童クラブ、幼稚園預かり保育を実施した。</td></tr>
<tr><td rowspan="6">成果実績</td><td colspan="2">項目（単位）</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td></tr>
<tr><td colspan="2">子どもセンター来館者数（人）
上段：一般来館者数
下段：各種事業参加者数</td><td>4,802
755</td><td>6,244
520</td><td>8,999
652</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファミサポ登録者数（人）</td><td>49</td><td>42</td><td>46</td></tr>
<tr><td colspan="2">児童クラブ登録者数（人）</td><td>265</td><td>258</td><td>268</td></tr>
<tr><td colspan="2">幼稚園預かり保育利用者数（人）</td><td>154</td><td>160</td><td>147</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・平日及び土曜日の小学生の利用者が大幅に増加したとともに未就学児の利用も増加したため、来館者数が増加した。
・ファミリー・サポート・センター事業を実施し、子どもを預けたり、預かったりする有償ボランティア活動を継続的に行った。
・就労の多様化や共働き世帯の増加等により利用ニーズが非常に高いため、小学校・幼稚園と連携し、引き続き児童クラブや幼稚園預かり保育を実施した。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・多様化する育児環境に対応するため、ソフト・ハード両面の整備を進めるとともに、充実した各種事業を実施し来館者数の増加につなげる。
・ファミリー・サポート・センター事業や児童クラブ、幼稚園預かり保育事業を継続して実施するため、会員や指導員、預かり保育員の確保に努める。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">生涯学習の充実</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">生涯学習内容の充実</td><td>生涯学習課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・生涯学習の楽しさを広めるため、事業内容の情報提供の充実を図る。
・生涯学習活動を支援するため、社会教育指導員による相談や指導助言の充実を図る。
・生涯学習活動を通じて、学ぶ意欲、学ぶ楽しさを身につけることにより生活満足度のさらなる向上を図る。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・町広報、町ＨＰを利用した生涯学習情報の提供
・社会教育指導員による各種講座の開催
・生涯学習人材バンクを設置し、自らの経験、知識及び特技などを学校や地域活動等に生かしてみたいという人材を登録し、その情報を提供し、生涯学習を支援した。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">成果実績</td><td>項目（単位）</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td></td></tr>
<tr><td>修道館大楽参加者（人）</td><td>８１
（延べ 599）</td><td>６９
（延べ 572）</td><td>７１
（延べ 617）</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・生涯学習情報については、各種講座の募集について町ホームページや広報誌を利用して周知を行った。
・社会教育指導員１名を配置して、各種講座への指導助言を行った。
・演歌講座、俳句講座、リメイククラフト講座、チャレンジ講座を実施した。
・生涯学習人材バンクへの令和６年度の登録者数は、２５団体と個人登録が２１名で、第 47 回文化祭、二十歳のつどいなどのスタッフとして活動した。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・生涯学習の推進をするために、各種講座の様子や内容を検討し、オンライン配信等、参加者が気軽に参加できるよう講座の内容を工夫していく。
・講座の受講者について自主的な活動へ移行できるよう誘導する方策を検討していく。
・広報（ＨＰ）等を利用した人材の募集を図り人材バンクの見直しを図る。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">生涯学習の充実</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">生涯学習拠点の充実</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・図書を利用した事業を展開し、図書館の利用促進を図る。
・発表会や展示会等、日常の活動の成果を発表する場の充実を図る。
・町立図書館の目的に応じた利用促進と、その管理形態の検討並びに施設の改修計画を計画的に進める。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・町立図書館の指定管理者による読書啓発、読書感想画展、図書館は楽しいんジャーの開催
・修明高等学校と連携した高校生図書ボランティア活動
・会議室等使用（貸館）の許可及び使用料の徴収に関する業務の実施
・利用者の利便性を図るため施設の維持補修を実施</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td></td></tr>
<tr><td>図書貸出数（冊）</td><td>33,115</td><td>31,604</td><td>30,398</td><td></td></tr>
<tr><td>図書館利用者数（人）</td><td>34,857</td><td>39,028</td><td>41,207</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・町立図書館の指定管理については、町民サービスの向上と新たな事業展開をはかっており、図書の貸出冊数は減少したが、利用者数は前年度より増加している。
・幼・小の子どもたちを対象とした図書館見学会を行った。
・図書室の利用に加えて、集会施設としての会議室は様々な文化活動、学習活動の場として利用されている。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・引き続き希望図書のアンケートを行うなど、読書者数を増やす取り組みを指定管理者と連携して行っていく。
・月に一度、夜の図書館として開館時間を延長して利用促進を図る。
・施設の改修については、年次計画に基づいて実施していく。
・地域おこし協力隊（司書）と協力し、利用者の更なる利便性の向上を図る。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">生涯学習の充実</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">青少年・子どもの健全育成</td><td>生涯学習課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・地域の教育力を高め、家庭や地域、学校と協力しながら青少年を育成できるよう、関係機関や地域の指導者等と連携した取り組みを進める。
・町内事業所等と連携した社会体験活動を通じて、子どもたちの健全育成に努める。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・チャレキッズの開催
・青少年の主張発表会の開催（オンライン配信実施）
・二十歳のつどいの開催（オンライン配信実施）
・子ども未来応援事業</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td></td></tr>
<tr><td>チャレキッズ参加児童数（人）</td><td>延べ 357</td><td>延べ 302</td><td>延べ 357</td><td></td></tr>
<tr><td>二十歳のつどい参加者数</td><td>102</td><td>124</td><td>115</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・青少年の主張発表会は、青少年が日頃考えている様々な事柄についての発表の場として棚倉町図書館を会場に聴講とオンライン配信を併用して開催した。
・二十歳のつどい実行委員会を組織し、式典への積極的な参加を図ることができた。
・子ども未来応援事業は子供の「夢」や「チャレンジ」したいことに企画・活動の支援を行い５名の子どもたちのチャレンジを支援した。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・「チャレキッズ」については、小学校５・６年生を対象としており、それぞれの発達段階に合った内容になるよう、内容の充実を図っていく。
・青少年の主張については、より多くの方に聴講してもらえるよう周知方法を工夫していく。
・二十歳のつどい実行委員の意見を反映し、式典の内容やスケジュールを調整する等より良い式典になるよう努めていく。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">生涯学習の充実</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">生涯スポーツの推進</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・棚倉スポーツクラブを支援し生涯スポーツの創出を図る。
・スポーツ施設の広域利用について近隣市町村と検討する。
・スポーツ協会やスポーツ推進委員など、各種団体との連携や活動を支援し、スポーツを通じた地域コミュニティづくりや、魅力あるスポーツイベントの開催に努める。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・棚倉スポーツクラブへの支援
・インドアホッケー教室・大会、青空剣道教室
・町民総合体育大会</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目（単位）</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td></td></tr>
<tr><td>総合体育館利用者数（人）</td><td>34,259</td><td>31,040</td><td>29,804</td><td></td></tr>
<tr><td>スポーツクラブ事業
参加人数（人）</td><td>2,231</td><td>3,363</td><td>3,144</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・コロナ禍により縮小・中止されていたイベントや各種教室が再開されるとともに、会員の健康増進、スポーツを通じた地域コミュニティの確立、豊かな高齢化社会の創造及び青少年の健全育成を理念に掲げ、「町民皆１スポーツ」の実現に貢献することを目的とした総合型地域スポーツクラブ事業を12教室開催し、延べ３，１４４名が参加した。
・棚倉運動広場大規模改修工事を実施し、利用者の利便性を向上させた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・町民の興味関心や競技レベルに合わせた様々なスポーツに触れる場を提供するため、健康づくり、人づくり、交流の場づくりを目的とした「棚倉スポーツクラブ」のさらなる育成を図り、生涯スポーツの機会の創出を図る。
・「棚倉スポーツクラブ」では、各種教室の開催と合わせ、大運動会やさつま芋ほりなど多様なイベントを開催しながら広く活動を周知し、クラブへの参加人数を増やしていく。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">文化芸術活動の振興</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">郷土文化の保存と継承</td><td>生涯学習課</td><td>A</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・貴重な歴史遺産や文化遺産の確実な伝承と継承を行うとともに、適正な保護に努める。
・郷土芸能の保存会において、後継者の育成と支援を行う。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・棚倉城跡石垣整備検討委員会の開催、棚倉城跡石垣整備に伴う発掘調査及び石材の撤去運搬工事の実施
・中世城館跡調査指導委員会の開催、赤館跡の基準点測量の実施
・民俗芸能保存団体への活動費助成</td></tr>
<tr><td rowspan="3">成果実績</td><td>項目（単位）</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td></td></tr>
<tr><td>指定文化財件数（件）</td><td>３６</td><td>３６</td><td>３６</td><td></td></tr>
<tr><td>民俗芸能保存団体数（件）</td><td>２</td><td>２</td><td>２</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・棚倉城跡石垣整備検討委員会を開催し、石垣の災害復旧工事に係る調査結果、工法等について議論した。
・中世城館跡調査指導委員会の開催、また赤館跡の地形測量を実施し、赤館跡の調査を実施した。
・郷土芸能の保存団体については、保存団体が後継者の育成に努めており、郷土芸能の保存が図られている。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・棚倉城跡整備基本計画に基づき、令和５年度から令和１０年度の計画で棚倉城跡石垣整備を実施する。
・棚倉城跡の石垣整備事業について広く町民の方に知ってもらえるよう現場説明会を実施する。
・町内に文化財について調査を実施し、指定文化財の登録を進める。
・郷土芸能の保存については、後継者の育成は重要な課題の一つであり、常に各団体の状況把握に努め、保存を図っていく。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">文化芸術活動の振興</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">歴史や文化資源の活用</td><td>生涯学習課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・子どもたちの郷土愛を育むため、町の歴史や郷土文化について学ぶ機会の充実を図る。
・文化財等を広く公開できる環境整備に努め、住民の文化財への理解と関心を高める。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・城下町くらしの資料館の開設と棚倉町茶室の活用
・八槻家住宅を活用した文化財展の開催
・文化財に関する広報活動</td></tr>
<tr><td rowspan="2">成果実績</td><td>項目（単位）</td><td colspan="2">Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td></tr>
<tr><td>八槻家住宅観覧者数（人）</td><td colspan="2">１２３</td><td>２２８</td><td>１２６</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・棚倉町文化財展の開催など八槻家住宅の誘客を図った。
・町内の店舗において、町が保管している民俗資料を展示、公開することができた。
・棚倉町歴史的建造物「八槻家住宅」において、秋に町内に遺る貴重な文化財を展示することができた。
・町内小学生、転入教職員を対象に町内文化財の案内と説明を行なった。
・町広報紙による文化財ＰＲを行った。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・棚倉城築城 400 年の関連事業として、町民のニーズや関心を踏まえ展示の内容や方法について検討し文化財の展示及び企画展を実施する。
・文化財に親しんでもらい、その保護への理解を深めていくために、棚倉城跡石垣修繕整備事業を活用した広報活動を行なっていく。
・町広報紙、フェイスブックやＸ等を活用した文化財の情報発信にも取り組んでいく。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">文化芸術活動の振興</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">文化活動の推進</td><td>生涯学習課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・文化団体活動の場として、住民ニーズに沿った設備等の充実と、誰もが文化に親しめる環境づくりを図る。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・文化センター大規模改修工事により施設の機能、性能向上を図った。
・各文化団体の活動の場として定期的な利用</td></tr>
<tr><td rowspan="2">成果実績</td><td>項目(単位)</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td>Ｒ６</td><td></td></tr>
<tr><td>文化センター
利用者数（人）</td><td>12,047</td><td>2,441</td><td>2,280</td><td></td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・改修工事により施設の利用制限で自主事業、貸館事業が減少し、利用者数の減少となった。
・自主事業イベントではラジオや新聞等で町外への PR 宣伝に力をいれ集客数増加に努めた。
・大規模改修により施設が充実し利用者の利便性を高められた。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・事業所や文化団体等へ施設利用促進に向けホームページやＳＮＳ等でＰＲ活動を行っていく。</td></tr>
</table>

令和７年度点検・評価表（令和６年度事業実施状況）

<table>
<tr><td>施　策　名</td><td colspan="3">文化芸術活動の振興</td><td>担当課</td><td>担当課
評　価</td></tr>
<tr><td>主要施策名</td><td colspan="3">芸術活動の推進</td><td>生涯学習課</td><td>B</td></tr>
<tr><td>第６次振興計画
における
事業の目的
と概要</td><td colspan="5">・子どもたちの豊かな心を育むため、芸術鑑賞教室の開催など優れた作品に触れる機会の充実を図ることを目的として事業を展開する。
・住民が優れた芸術作品に触れる機会を提供し、地域の芸術文化の振興に努める。</td></tr>
<tr><td>令和６年度
事業実施状況</td><td colspan="5">・幼稚園、小学校、中学校の芸術鑑賞教室を開催
・倉美館運営協会の活動支援
・自主事業のイベント公演を開催</td></tr>
<tr><td rowspan="4">成果実績</td><td>項目（単位）</td><td>Ｒ４</td><td>Ｒ５</td><td colspan="2">Ｒ６</td></tr>
<tr><td>芸術鑑賞参加人数（人）</td><td>1,864</td><td>1,765</td><td colspan="2">1,392</td></tr>
<tr><td>ピアノ開放事業参加者数（人）</td><td>27</td><td>0</td><td colspan="2">0</td></tr>
<tr><td>倉美館運営協会事業数
及び公演回数</td><td>事業：5
回数：7</td><td>事業：1
回数：1</td><td colspan="2">事業：1
回数：1</td></tr>
<tr><td>評価の内容</td><td colspan="5">・施設改修中でも自主事業を開催し、町内外から多くの参加者があり芸術に触れる機会を提供することができた。
・各学校（園）に希望調査を実施して要望に合った事業を実施し好評を得ている。幼少期から芸術に慣れ親しむことで今後の芸術振興に寄与できるものである。</td></tr>
<tr><td>改善の方策等</td><td colspan="5">・自主事業で様々なジャンルの公演等を実施し、文化芸術の普及と関心を深め、また、芸術のニーズを把握し、地域の芸術文化の振興に努めていく。</td></tr>
</table>

Ⅵ　学識経験者の意見　【高田　昇委員】

施　策	１　学校教育の充実

施策評価もＡであり、早期からのキャリア教育の実践等により、他町村の教育関係者の見学受け入れを行う等をはじめ、５つの主要施策においても、高い評価を行うなど、鋭意教育行政を推進した結果と考えます。

施　策	２　子育て環境の充実

施策評価はＡであったが、残念ながら保育士不足により待機児童が発生してしまった。

子どもセンター来館使用者増などをはじめ、多くの有益な事業を展開して今後とも利用者ニーズに対応する教育行政を推進していただきたいと考えます。

施　策	3　生涯学習の充実

施策評価はＡである。

図書館利用者数が毎年増を記録するなど、各主要施策において町民に対する生きがい作りや健康寿命を押し上げる活動と受け止めさせて頂いております。

文化的な団体には発表の場、スポーツ団体には記録の場を年単位で設定するなど、町民に対しては登山やハイキングの企画があってもいいと思います。

施　策	4　文化芸術活動の振興

残念ながら施策評価はＢとなりました。

改修工事により文化センター利用者数が減少しておりますが、工事終了後の施策に大きく期待できるところであります。

今年度は、棚倉城築城４００年であり、大きく事業を展開して頂きたいと期待しております。

Ⅵ　学識経験者の意見　【藤田千恵子　委員】

施　策	1　学校教育の充実

- 棚倉町の教職員が子ども達と肯定的・対話的な関りを持ちながら、育てたい子どもの姿を共有し、義務教育終了まで一体となって子供たちの育ちや学びを実現していることは、子ども達にとってとても良い環境を準備していただいていると感じました。その成果実績評価にはキャリア教育シンポジウム参加者へのアンケート結果が用いられていますが、それで図るだけでよいのだろうかと思いました。例えば、キャリア教育を受けて成長した子ども達からの意見を求める視点があると更に良いと思いました。
- 小学校 6 年生の交流学習が 1 日のみの実施でも目的が十分に達成できたとの報告ですが、関係性を築くにはゆとりあるスケジュールで交流することも必要と考えます。安心や希望をもって中学校生活をスタートするために再度時間を確保できないかと思いました。また一方で新たに、小 6 と中 1 の交流について検討されているとのこと、円滑に中学校生活へ移行するために有意義だと楽しみに感じました。
- 全国学力・学習状況調査における、中学校の思考力・判断力・表現力の低さは大きな課題だと思います。それらは、人間力に繋がると思うので豊かな未来のために育成強化を望みます。
- 教育相談員の 2 名体制やサポート教室の設置など、多様化する学校との関り方への対応は人員や費用などを要しますが、子ども達がどの時点からもスタートできるサポート体制は今後も重要と考えます。
- スポーツテストの結果はどうであったのか確認が漏れました。心身の健康のため体力強化は必要と思います。
- 物価高騰で給食の準備は苦慮されていることと思いますが、楽しく豊かな食体験の提供に引き続き寄与していただきたいと希望します。
- 学校運営協議会や地域学校協働活動推進員の皆さんに感謝するところです。改善の方策に記載されるように継続事業は目的と役割の確認しながら方向性を認識することが必要と思いました。
- 教育環境を整えるうえで学校統合は最重要施策だと思います。より良い社会づくりのために知見を集め教育環境整備に努めてください。

施　策	2　子育て環境の充実

- 幼児期において、保護者による絵本の読み聞かせ、里山での虫観察会や図書館見学、寿恵園訪問など、体験を重視した教育がされていることに希望を感じました。今後も更に多くの活動の機会を設け、豊かな体験から学んでほしいと思いました。
- 保育士不足は全国的な課題なので、求人への取り組み強化に加えて、待遇改善や多様な働き方の検討も必要かと思いました。
- ファミリー・サポート・センター事業や児童クラブなどの仕組みは、社会全体の好循環になると思いました。今後も更に、地域で子育てする仕組みの充実、安心して子育てできる環境づくりに努めていただきたいです。

施　策	3　生涯学習の充実

- 事業内容の情報提供をホームページや広報誌でご尽力いただいているところですが、新たな会員発掘の苦労は想像できます。講座ごとに対象者を明確に描き（ペルソナ）ターゲットにマッチした運営方法もあるかと思いました。また、働く世代の参加者を増やすためにポイントでオンライン配信などしてみてはいかがでしょうか？
- 図書館利用者数は前年対比で5.6%増加していることは、図書館は楽しんジャーの開催や高校生図書ボランティア活動など、活発に事業を実施した成果だと思いました。改善の方策も検討されているので、更に期待するところです。
- 青少年の主張や二十歳のつどいのオンライン配信は、場所や時間を問わずに聴講でき有効だと思います。改善の方策にある青少年の主張により多くの聴講者を集めることは難しいかと思いますが、オンライン配信と継続して取り組んでほしいと思いました。
- 子ども未来応援事業は、子ども達の未来図に大きな影響力があったことと思います。より多くの子ども達が参加し潜在意識として残ったなら、子ども達のロードマップにも大きな影響を与えるのではないだろうかと楽しみに思いました。

施　策	4　文化芸術活動の振興

- 今年は棚倉城築城 400 年イベントも企画され、町民の関心が高まっています。この機会を逃さず、各種団体が協力し、棚倉町の歴史や郷土文化を周知してほしいと思います。「城下町くらしの資料館」や「八槻家住宅」などの展示や SNS 発信内容は常に見直し時代に合った告知で魅力発信してほしいと思います。
- 文化センターの改修が完了したので、活発に活用され地方においても豊かな芸術に触れる機会を創出されるよう希望します。しかしながら、人々の趣味趣向の多様化や物価高騰などにより企画もご苦労が多いかと思います。改善の方策に示されたように、芸術のニーズの把握や地域芸術文化の振興に努めていただきたいと思います。

Ⅵ　学識経験者の意見　【石川幸絵　委員】

施　策	1　学校教育の充実

多項目にわたり積極的な事業が進められ素晴らしいことです。特にキャリア教育の推進は、他県からの研修を受け入れるなど、先進的、中心な取り組みがなされていることは評価されるべきだと思います。

全国学力・学習状況調査では中学校において、残念な結果が見られますが、「夢の実現を図る学力向上」の施策により、ただ勉強し、良い成績をとるということではなく、将来を見据た自主学習等地道な積み重ねが大切なのだと感じています。

いじめの認知件数は減少しているようですが、いじめの把握後にどのような対応がされているかが重要だと思います。表面化していないことも考えらるので小さな予兆を見逃さぬよう先生方と保護者の連携を強め、対応していただきたいと思います。

教育環境の充実については少子化の急速な進行など子どもたちを取り巻く環境の変化の中で、学校統合の説明会が行われたことで保護者や地域住民の意識を高め、将来のビジョンを共有することができたのではないでしょうか。

施　策	2　子育て環境の充実

幼稚園教育の充実については、幼稚園という早い段階でキャリア教育を意識した体験活動を実施されており、園児の持つ「力」や社会性の基礎を育むことができたのは素晴らしいと思います。また、幼稚園職員の指導力向上のための研修会を引き続行いスキルアップを図っていただきたいです。

保育環境の充実については、待機児童ゼロが達成できなかったことは残念ですが、変化する保育ニーズに応えられるよう、棚倉保育園と連携し、保育環境の整備を図っていっていただきたいです。

子育て支援の充実についても、拠点となる子どもセンターでの支援事業が実施され、来館者数も大幅に増加しており、子どもが安全に過ごせる場所として重要な役割を果たしていると思います。

施　策	3　生涯学習の充実

生涯学習の充実については、講座の内容が多彩で魅力のある講座が実施されており、参加者が気軽に参加できるよう工夫されていると思います。しかし、新規の受講者の開拓に向けた取り組みが必要だと感じました。

町立図書館については、図書利用だけでなく、集会施設としての会議室として様々な文化活動、学習活動の場として利用されており、引き続き、町民のニーズに応えていただきたいと思います。

青少年・子供の健全育成では、恒例事業に加えて、子ども未来応援事業が行われたことは評価されるべきだと思います。「夢」や「チャレンジ」を支援することでき良かったと思います。

生涯スポーツの推進については棚倉運動広場の改修により施設の整備がされ、イベントや各種教室が再開され、町民がスポーツに触れる場が提供されており、人生 100 年時代を健やかに過ごせるように生涯にわたる学習、元気で安心して暮らせる体づくりを後押しするような事業をこれからも引き続きお願い致します。

施　策	4　文化芸術活動の振興

関係者の地道な活動により、貴重な文化財が保護され伝承されていくことは評価されるべきです。活動の成果を広く発信することで、町民だけでなく多くの方々に興味や関心を持っていただきたいと思います。

特に、棚倉城跡石垣整備については、大きな事業であり、長期間にわたる事業なので、町民、特に子供たちにも是非興味を持っていただきたいです。現地を見学できるのが一番かと思いますが、安全面等考えると映像等で調査、整備の過程を見ることができたら良いと思います。

文化センターにつては、大規模改修後、施設が充実し、棚倉町の文化芸術活動が発展することを期待いたします。